

## 令和元年度学修調査の概要報告

### 【目的】

・本調査の目的は、学生に対する支援と指導のため、日常の学生の学修状況についての基礎的な資料を得ることである。

### 【方法】

#### 1. 調査対象

・体育学部にも所属する全学生を対象として調査を実施した。

#### 2. 調査内容

・「学生の学習状況に関する調査」という題の質問紙を作成して調査に使用した。

・質問内容は以下の通りである。:

- ①基礎的情報： 性別、学年、学科
- ②授業時間以外での自主的な学習時間(1日あたりの平均)
- ③授業時間以外での運動やスポーツ活動の時間(1日あたりの平均)
- ④大学での学習で最も力を入れていること
- ⑤高校3年時での授業時間以外での自主的な学習時間(1日あたりの平均)
- ⑥高校3年時での授業時間以外での運動やスポーツ活動の時間(1日あたりの平均)
- ⑦卒業後の進路として最も希望していること

#### 3. 調査の手続き

・調査期間は令和元年7月1日(月)～7月26日(金)である。

・調査を実施した科目を表1に示した。授業において質問紙と回答用マークシートを配布、その場で回答を依頼し、回答記入後にマークシートを回収した。

表 1 学科学年別調査実施科目

		学年			
		1年	2年	3年	4年
学 科	体育	導入演習	運動生理学	キャリア プランニ ングⅢ	卒業論文
	健福		運動障害救急法		
	運栄		スポーツ栄養学		
	ス情		スポーツマスメディア概論		
	現武		社会の安全・安心概論		
	子教		教育の基礎理論 B		

\*この報告書では、学科名の表記について以下のような略称を用いている: 体育学科→「体育」、健康福祉学科→「健福」、運動栄養学科→「運栄」、スポーツ情報マスメディア学科→「ス情」、現代武道学科→「現武」、子ども運動教育学科→「子教」。

## 【結果】

### 1. 回答率について

・学科学年別の回答者数と回答率を表 2 と表 3 に示した。全体での回答率は 79.0%となった。

表 2 学科学年別回答者数

学科	1 年	2 年	3 年	4 年	全体
体育	289 人	281 人	297 人	213 人	1080 人
健福	78 人	80 人	86 人	57 人	301 人
運栄	73 人	75 人	83 人	47 人	278 人
ス情	20 人	38 人	36 人	23 人	117 人
現武	50 人	34 人	40 人	32 人	156 人
子教	34 人	37 人	16 人		87 人
全体	544 人	545 人	558 人	372 人	2019 人

表 3 学科学年別回答率（休学者を含む）

学科	1 年	2 年	3 年	4 年	全体
体育	81.0%	82.6%	92.0%	66.6%	80.7%
健福	73.6%	76.2%	84.3%	54.3%	72.0%
運栄	85.9%	83.3%	96.5%	60.3%	82.0%
ス情	47.6%	88.4%	80.0%	44.2%	64.3%
現武	100.0%	89.5%	85.1%	86.5%	91.3%
子教	77.3%	80.4%	100.0%		83.0%
全体	79.5%	82.3%	90.1%	62.8%	79.0%

## 2. 大学での学習時間と運動時間について

・学年別の自主的な学習時間についての結果を図1に示した。一二年生は結果に大きな違いがない。一日の平均学習時間は、回答者の60%弱が30分未満、回答者の90%弱が1時間未満という結果であった。学年が進むにつれ、学習時間が微増する傾向が見られる。そのため、四年生では他の学年に比べて学習時間が長い(2時間以上)と回答した者の割合が多かった。昨年度と同様の傾向の結果であった。

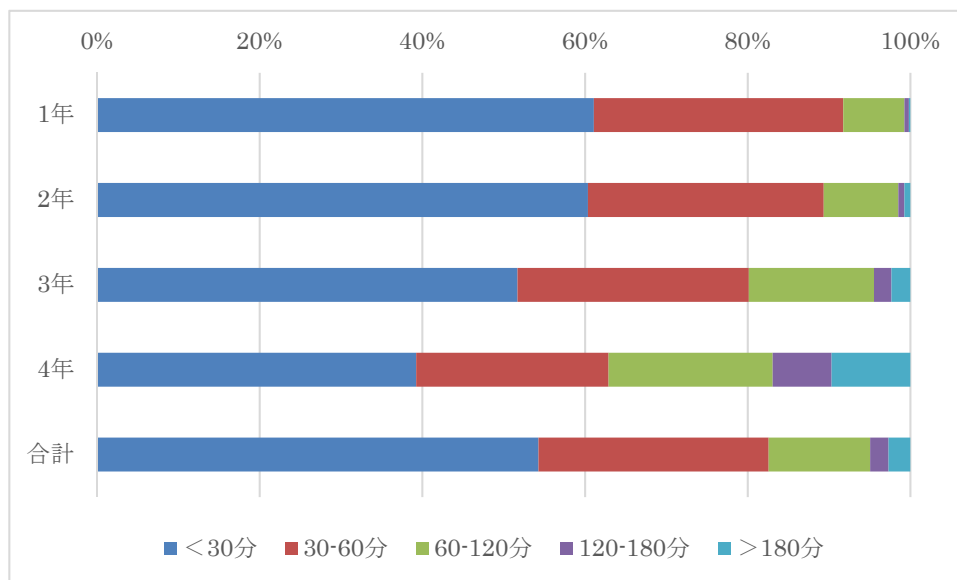


図 1 一日の自主学習時間(学年別)

・性別の自主的な学習時間についての結果を図2に示した。性別による大きな違いは見られなかった。

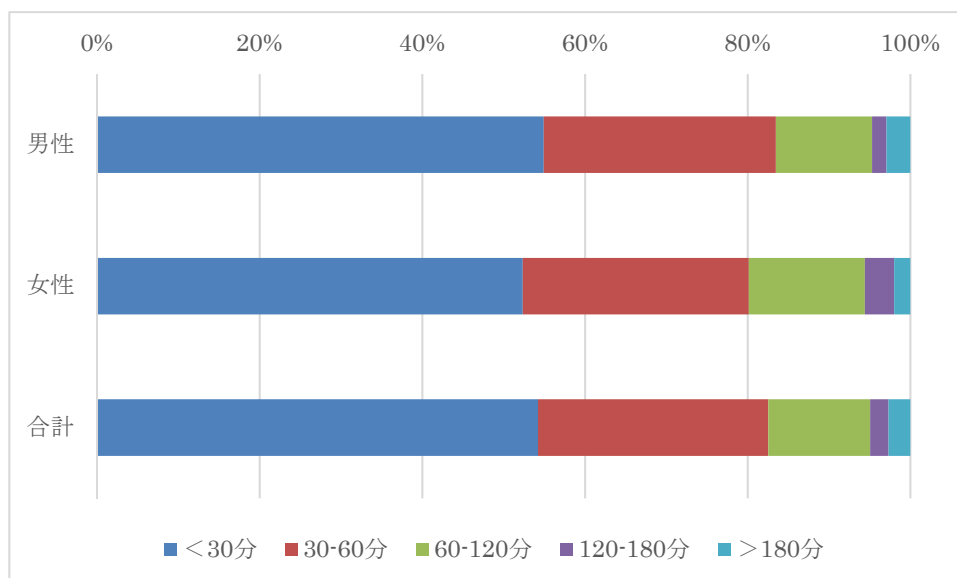


図 2 一日の自主学習時間(性別)

・学科別の自主的な学習時間についての結果を図3に示した。健福と運栄の2学科で自主学習時間が30分以上と回答した者の割合が高かった。

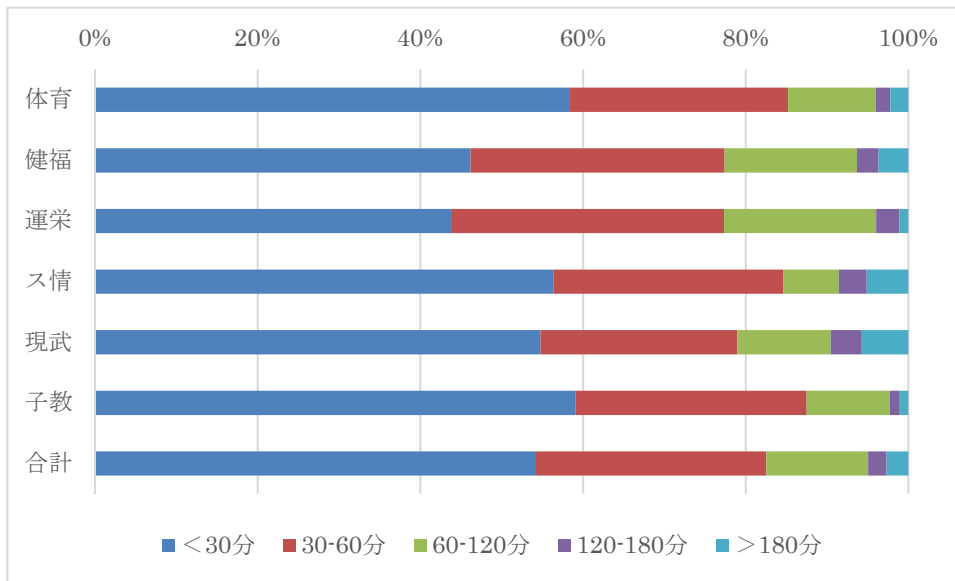


図 3 一日の自主学習時間 (学科別)

・学年別の運動時間についての結果を図4に示した。上級学年になるにつれて運動時間が短い(1時間未満)と回答した者の割合が増え、一方で運動時間が長い(2時間以上)と回答した者の割合が減る傾向が見られた。昨年度と同様の傾向の結果であった。

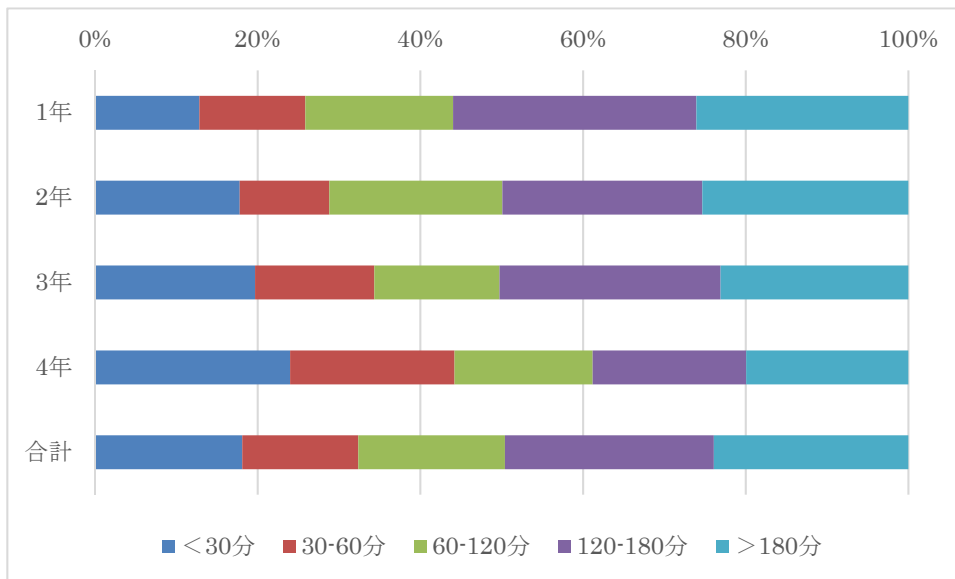


図 4 一日の運動やスポーツ活動時間 (学年別)

・性別の運動時間についての結果を図5に示した。女性において、運動時間が短い(30分未満)と回答した者と運動時間が長い(3時間以上)と回答した者の割合が高い傾向が見られた。

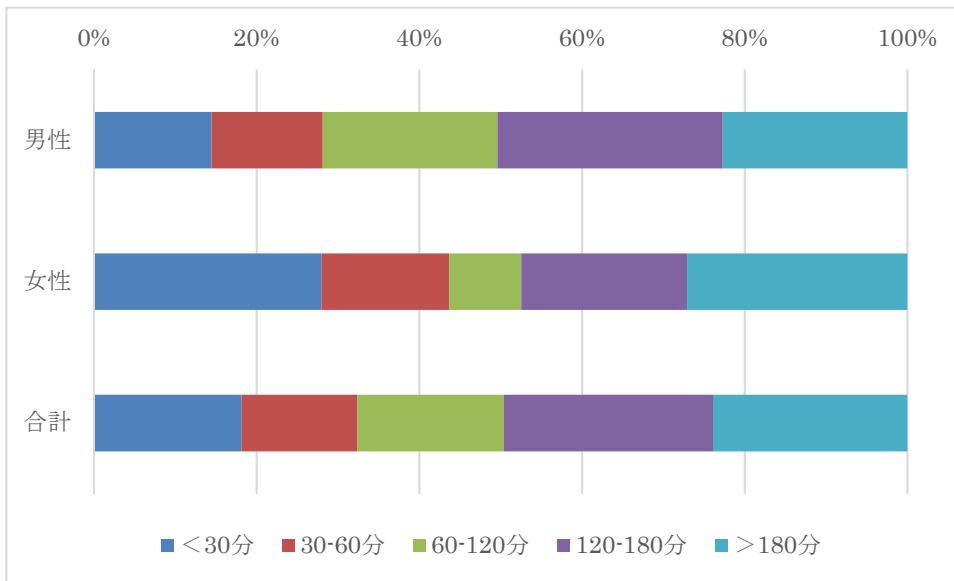


図 5 一日の運動やスポーツ活動時間（性別）

・学科別の運動時間についての結果を図6に示した。健福、運栄、子教の3学科において、運動時間が短い(30分未満)と回答した者の割合が高い傾向が見られた。

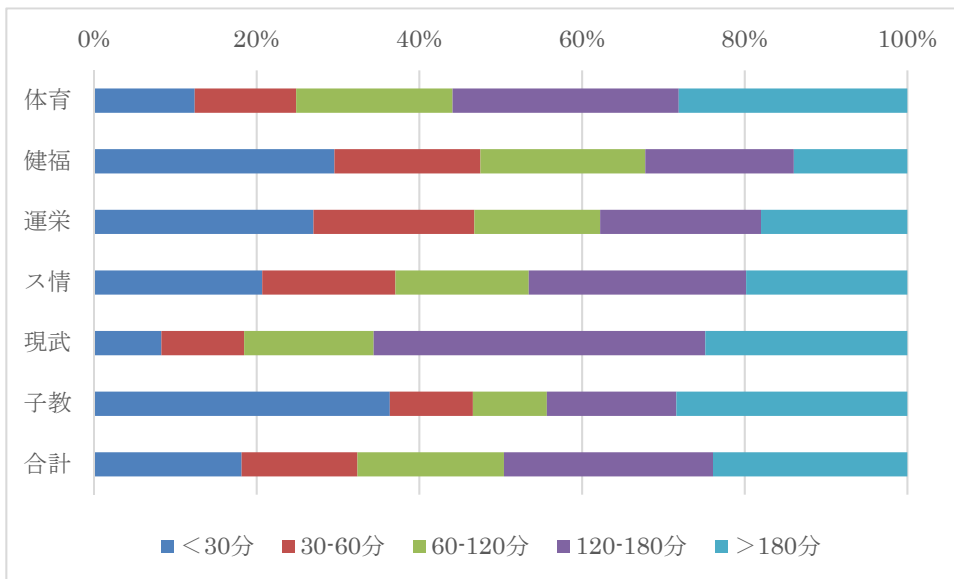


図 6 一日の運動やスポーツ活動時間（学科別）

・学年別の大学での学習の目標についての結果を図7に示した。一年生から三年生までは「専攻する領域に関連する資格・免許を取得する」という回答が最も多いが、学年が進むにつれてその割合は減少する。それに対して「幅広い教養を身につける」という回答の割合は上位学年になるほど大きくなる傾向が見られる。一方、「資格や免許の取得にこだわらず、専攻する領域の専門的な知識や技術を身につける」という回答の割合は学年による違いが小さい。昨年度と同様の傾向の結果であった。

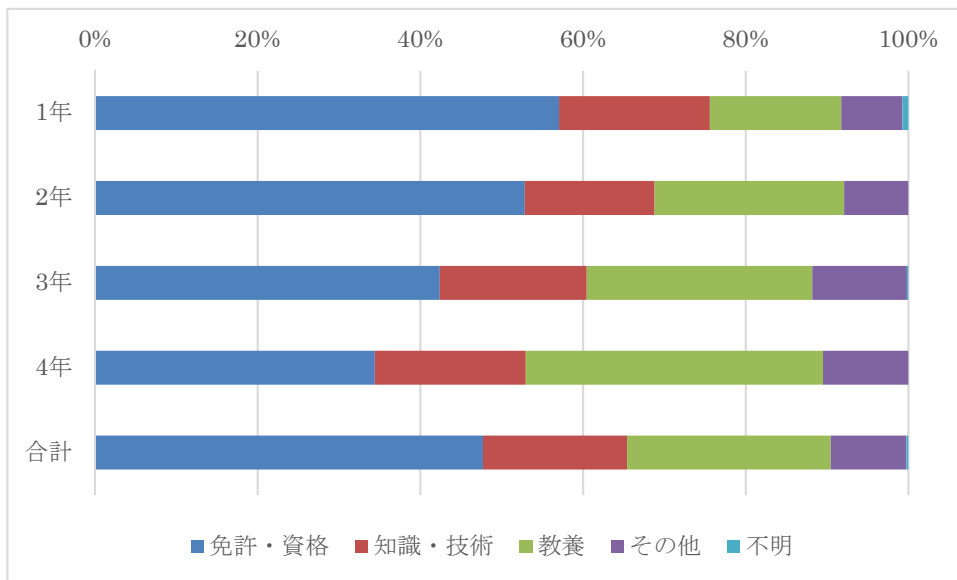


図 7 大学での学習目標 (学年別)

性別の大学での学習の目標についての結果を図8に示した。男女とも「専攻する領域に関連する資格・免許を取得する」という回答が最も多いが、女性においては約60%が回答をしていた。それに対して「幅広い教養を身につける」という回答の割合は男子学生の方が大きくなる傾向が見られた。一方、「資格や免許の取得にこだわらず、専攻する領域の専門的な知識や技術を身につける」という回答の割合は男女による違いが小さかった。

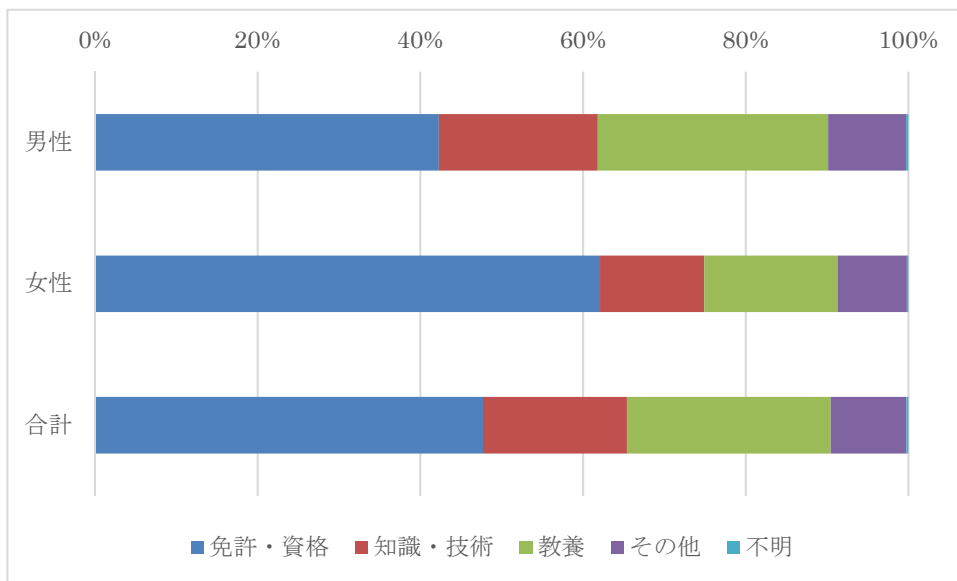


図 8 大学での学習目標 (性別)

・学科別の大学での学習の目標についての結果を図9に示した。学科によって異なり、体育、健福、運栄、子教の四学科では、「専攻する領域に関連する資格・免許を取得する」という回答が40%～60%で最も多かった。それに対して武道と情報の二学科「専攻する領域に関連する資格・免許を取得する」と回答した者の割合が高い傾向が見られた。昨年度と同様の傾向の結果であった。

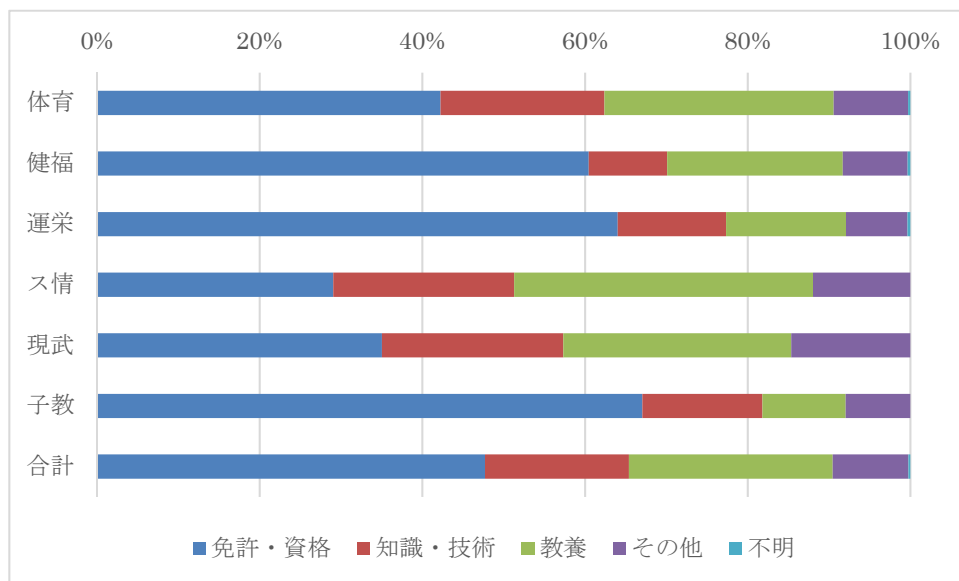


図 9 大学での学習目標（学科別）

### 3. 高校三年時の学習時間と運動時間について

・学年別の高校三年生の時の学習時間についての結果を図10に示した。学年による結果の違いは小さかった。一日1時間以上という回答が約40%、そのうち2時間以上が全体の約20%という結果であった。大学での学習時間と比較すると、四年生を除いて、高校3年生の時よりも大学時で学習時間が短い傾向であった。昨年度と同様の傾向の結果であった。

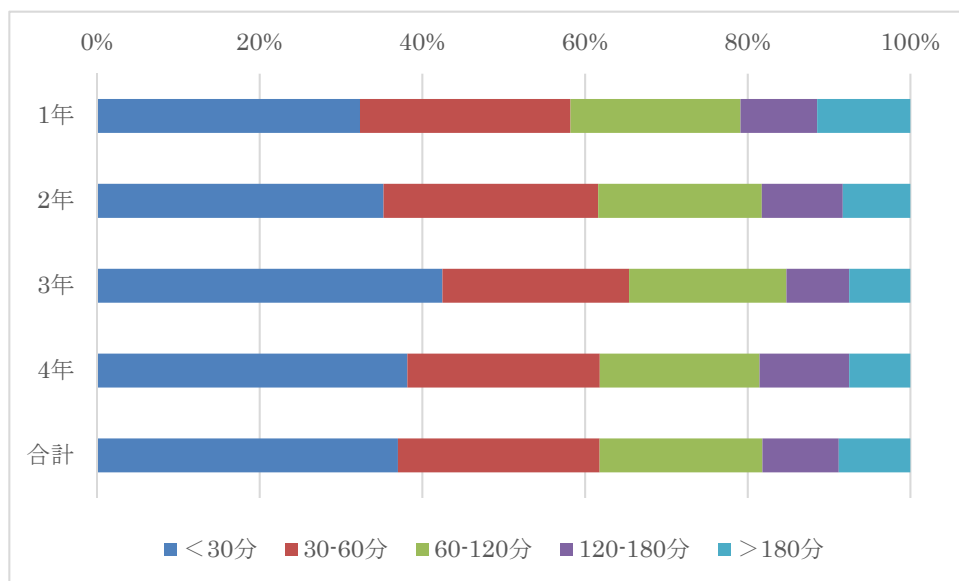


図 10 高校3年時の一日の学習時間（学年別）

・学年別の高校三年生の時の運動時間についての結果を図11に示した。学年による結果の違いは小さかった。平均運動時間が2時間以上という回答が約80%、3時間以上という回答が50%程度という結果になった。大学での運動時間と比べると、高校3年生の時よりも現在の方が、運動時間が短いと回答する者が多い傾向が見られた。

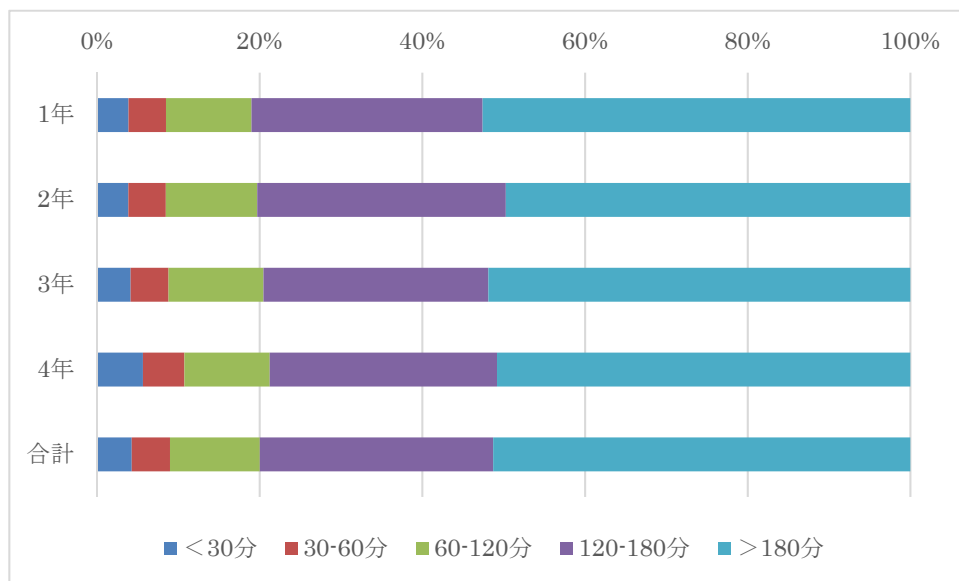


図 11 高校3年生時のスポーツ活動時間 (学年別)

#### 4. 卒業後の進路の希望について

・学年別の卒業後の進路の希望についての結果を図12に示した。1年生では「教員あるいは保育士」という回答が50%弱と最も多かった。「教員あるいは保育士」や「スポーツに関わる職業」と回答する者の割合は学年が進むにつれて減少する傾向が見られた。また、いずれの学年においても、「公務員」という回答は比較的多く見られた。これに対して、「一般企業(大学での専攻領域に特にこだわらない)」という回答の割合は学年による違いが見られ、上級学年になるほど一般企業を希望する回答者が多かった。

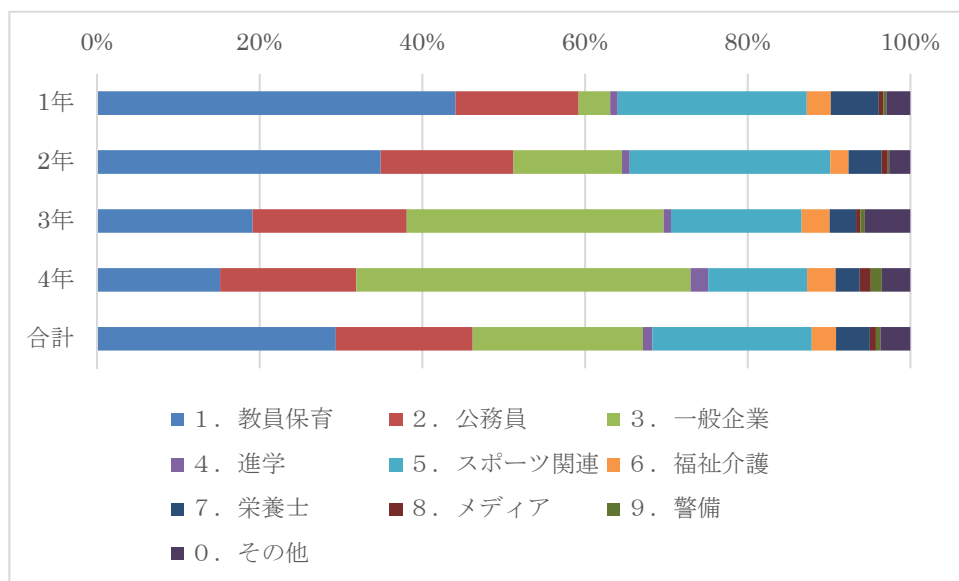


図 12 卒業後の進路希望 (学年別)



・性別の卒業後の進路の希望についての結果を図13に示した。女性では「教員あるいは保育士」という回答が約40%と最も多かった。一方で男性は「教員あるいは保育士」と回答する者が一番多い者の、「公務員」「一般企業」「スポーツに関わる職業」と回答する者の割合が約20%と、性別により卒業後の進路希望が異なる傾向がみられた。

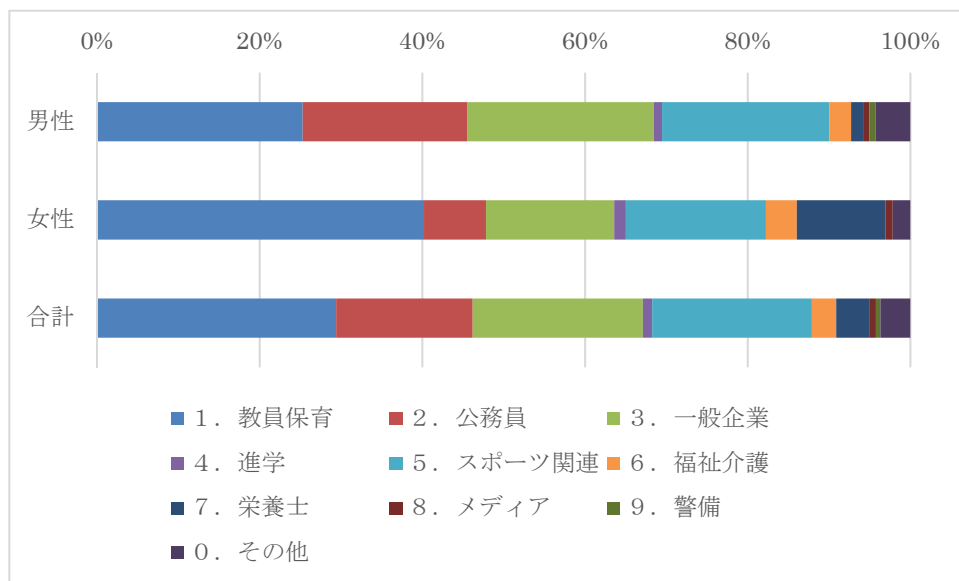


図 13 卒業後の進路希望（性別）

・学科別の卒業後の進路の希望についての結果を図14に示した。学科により、その学科の特色を反映した結果が見られた。

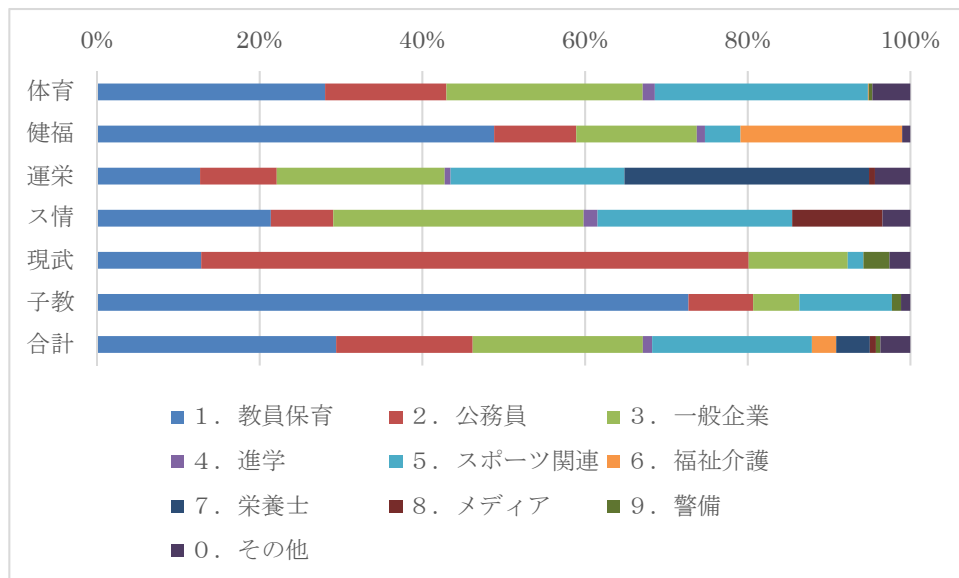


図 14 卒業後の進路希望（学科別）

5. 学習時間と他の質問の回答との関係について

・学習時間と運動時間との関係についての結果を図15に示した。学習時間と運動時間との間に明確な関係は認められないが、自主学習時間の増加に伴って運動時間を長時間行う者の割合が減少していく傾向が見られた。

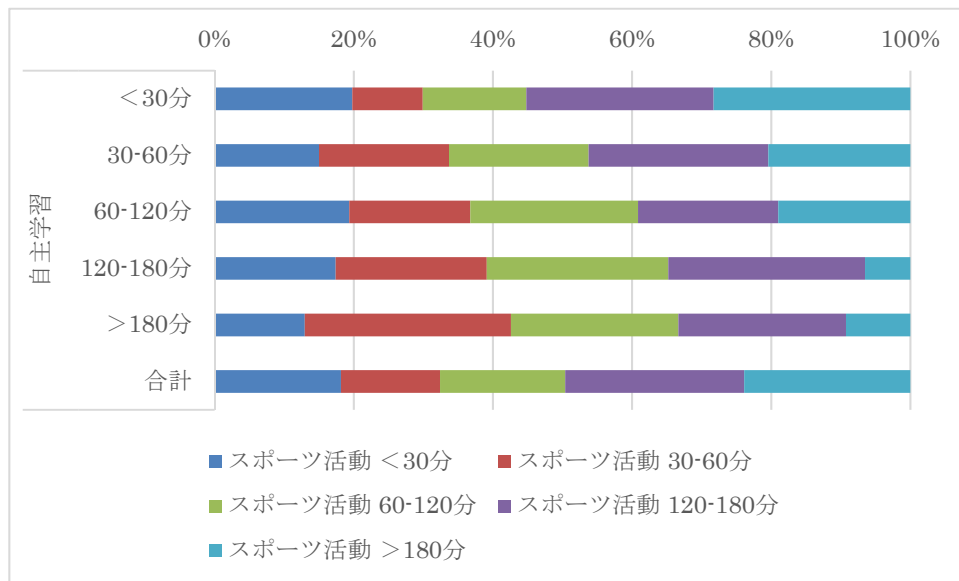


図 15 学習時間と運動時間の関連

・自主学習時間と学習目標との関係についての結果を図16に示した。学習時間と目標との間に明らかな関連は見られなかった。

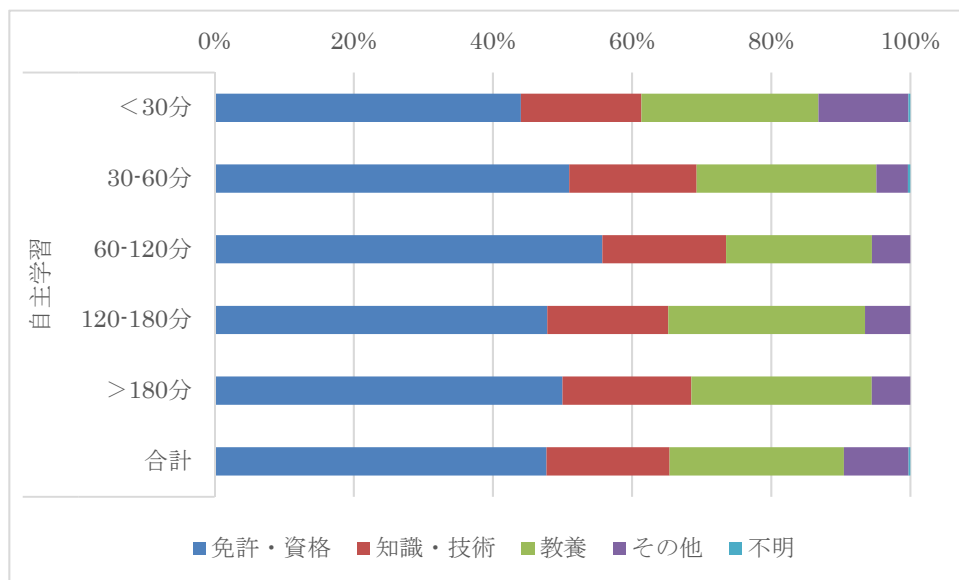


図 16 学習時間と学習目標の関連

・大学と高校三年生時の学習時間の関係についての結果を図17に示した。高校での学習時間が長いと、大学での学習時間も長いという傾向が見られた。また高校での学習時間が30分未満であったにもかかわらず、大学では180分以上と回答した学生が約30%であった。

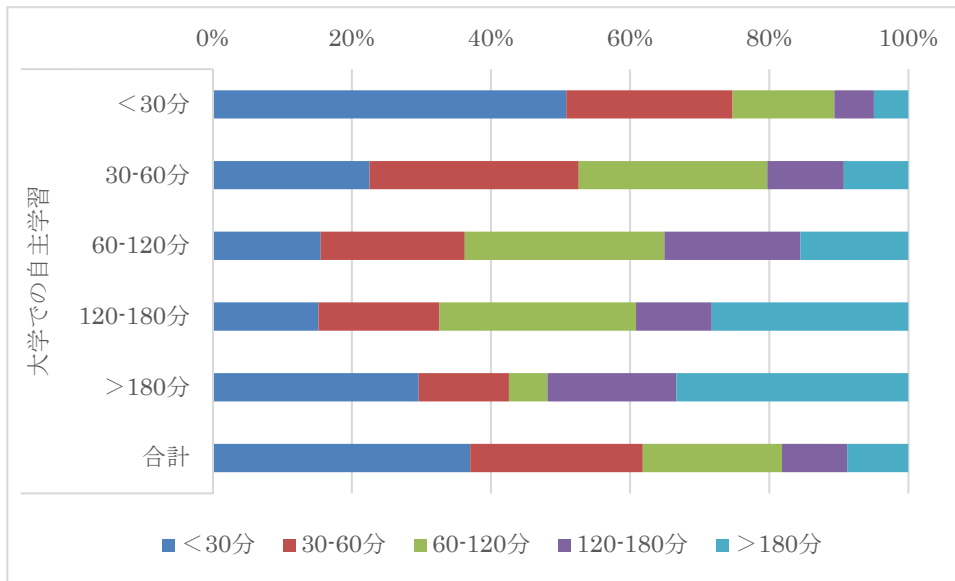


図 17 大学と高校での学習時間の関連

・学習時間と希望進路との関係についての結果を図18に示した。希望する進路によって学習時間にやや違いが見られ、進学、教員、公務員などを旨す回答者は学習時間が長い傾向が見られた。

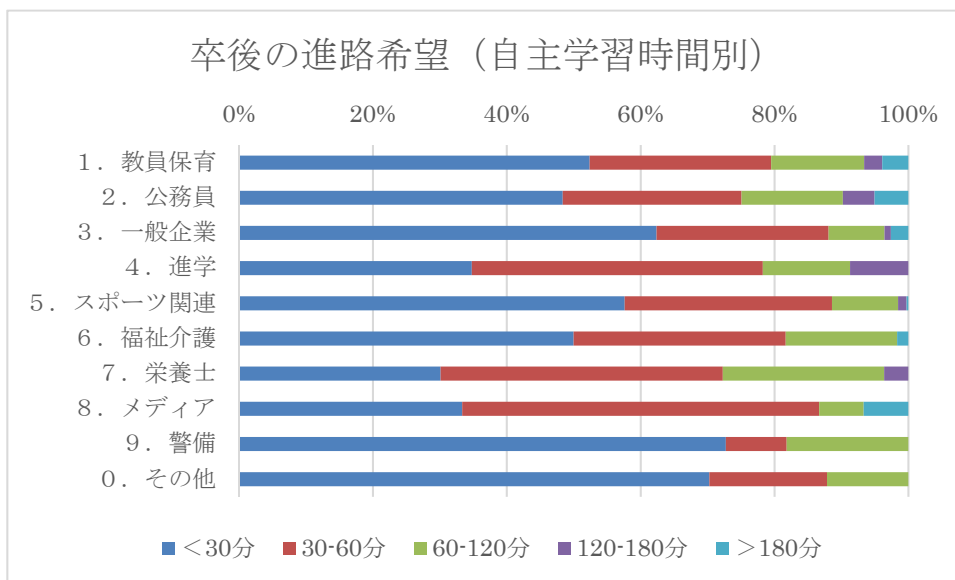


図 18 学習時間と希望進路との関係

## 6. まとめ

- ・全体として学習時間が長いとはいえない。四年生を除いて、自習的な学習を十分にしている学生が少ない。四年生で学習時間が相対的に長くなっているのは、教員採用試験など就職対策のための学習の必要性と関連があると考えられる。
- ・1年次には資格や免許の取得を目標とする学生が60%弱と最も多いが、この割合は学年の進行とともに低くなる。それに対して「教養を身につける」ことを重視する学生が増加している。
- ・進路の希望として1年次では教員希望が最も多いが、学年が進むにつれてその割合は減少する。それに対して一般企業を目指す学生が増加している。一方、「公務員」、「スポーツ関連の職業」を目指す学生はいずれの学年においてもある程度の割合見られる。
- ・高校三年生の時に学習時間が短かったが、大学で学習時間が長くなる学生もみられる。

以上